

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ じょうほうし



「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 11

ぶるーむ.com

2011.4

はるごう
春号

とうほくかんとうだいしんさいによるひさいしやとそのご家族に対して、心よりお見舞い申し上げます。

～ じぶん せいかつたの
～ 自分の生活楽しんでますか？ ～



きょう
今日もですね。

きょう せつやく
今日は節約のために、
えき ある くだ
駅まで歩いて下さい。

CONTENTS

P2 よろず!!2011.....

P4 じりつじざい だいさんかい
「自立自在」-第三回-

P6 たかお
高尾ヘルパーコラム.....

かつどうほうこく
活動報告.....

◆「ぶるーむ」の由来◆

えいごの bloom をひらがな表記したものです。
bloom には、「(花が) 咲く」「(才能・事業などが) 花開く」などの意味があります。この
きたきゅうしゅうのちで、じりつせいかつ どじょう
北九州の地で、自立生活の土壌をあらため
ておこすことから始め、それぞれの自立生活
の種を植え、いろとりどりの自立生活の花が咲
きほこるという願いをこめました。

よろず！！2011

今年最初の『よろず！！』題して『餅歌よろず！！』最近ではなかなか体験することも少なくなってきた餅つきと『よろず！！』の定番となった歌を楽しんでいただきたいたいという思いを込めまして『餅歌よろず！！』と題しました。

MC もりきき 森崎さん



スタッフ やまうち 山内

幹事 ほんだ 本田さん

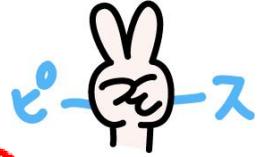
『よろず！！』の目的として楽しむことは勿論ですが、できるだけ参加者の方々にも企画・進行・催しなどに携わっていただきたかったので、『本田恭一さん』『森崎健斗さん』に声を掛け一緒に進行することにしました。幹事を本田さん、MCを森崎さんに担当していただき、ぶるーむスタッフからは山内が加わり三人で進行していきました。

本田さんと森崎さんには事前に呼びかけをし、当日の打ち合わせからディスカッションまでを念入りに行い本番にそなえました。また、せっかくの機会でしたので幹事の本田さんに共同調理を提案させていただき、当日の夕食にカレーライスを用意しました。前日からの計画・買出し・調理までを西小倉市民センターにて一緒に行いました。

男料理！スタート☆



かんせい 完成



はなまる

おとこりょうり きほん
男料理の基本！
カレーライス！！

なかなかおいしそうにできあがりました！

当日の流れも非常にスムーズで、最初にカレーを振る舞い、食事中はMCによるラジオ形式の進行でBGMや様々なトークの中、食事を楽しんで頂き、食事終了後、餅つき機のスイッチを入れ、スタッフ山内のギター演奏にて、参加者の中から数名の方に歌を歌っていただきました。手拍子や笑い声もありで非常に盛り上がりました。



だいねっしょうちゅう
大熱唱中

はくしゅかっさい
拍手喝采！

歌も終わり、搗き上がった餅を早々に片栗粉に潜らせ、スタッフで手分けして丸めました。餅の食べ方は、きな粉と酢餅を用意しました。中でも酢餅は、搗き立ての時にしか食べられないので、参加された方々にとっても貴重な体験になったのではないのでしょうか。当日はカレーもあったので餅を持ち帰る事を予想してましたがすぐに完食されていました。



まずは機械で蒸してこねていきます。
なかなかいい感じになってきました～
おいしそうです！

お次は片栗粉を投入！食べやすい大きさにちぎり、丸めます！
つきたてなので熱い(＞_＜)
やけどに注意ですよ～

最後に…皆さんのお口に運び込まれます。つきたて餅のお味はいかがでしたかあ～？

最高でしたよ！

終始盛り上がった今年最初の『餅歌！！よろず！！』もお開きの時間となり、最後も、本田さんと森崎さんの名コンビで締めくくっていただき、今回のよろずを終了しました。

今後も『よろず！！』を進めていく上では、『気軽に来て、気楽に話せて、気ままに歌って楽しむ』を基本スタイルとして、ぶる一むにより足を運びたいような定例イベントとして企画していきたいとおもいます。

しょうがいしゃ かいご せいめいせん かいごしゃ そんざい ぜつだい ほうき きょうふ はか し
障害者にとって介護は生命線で、介護者の存在は絶大であり、放棄されるという恐怖は計り知れないのである。たった一年間の入院生活だった私でさえ、その後看護師と楽しく合コンしようという気になるまでには時間を要した。実現するまでには、さらなる時間を要するだろう。

かぞくかいご さいこうか と ちか かんけい べつ むすか もんだい
では、家族介護が最高か？と問われれば、近い関係だけに、また別の難しい問題がある。たしかに介護放棄というリスクは低い。以心伝心で行き届いた介護も可能にする。他人事でなく、誰より親身になって想ってもらえるだろう。しかし、この“他人事でない”というのが曲者で、この状態がながび たが ちか かんけい “他人事でない” たにんごと ほんとう いっしん
長引くとお互いが近すぎる関係になってしまう。“他人事でない”どころじゃすまなくて、本当に一心どうたい さっかく いっしんどうたい い い い い い じっさい
同体と錯覚してしまうのである。一心同体なので言いたいことも言うし、言いたいことを言えば、実際けんか た
は喧嘩が絶えない。

たとえば、なにかのたの き つか
たとえば、何かものを頼む。気を使って「アレとコレとソレ取って」といっぺんに頼めば、「手は二つしかない！」と言われ、それではと、ひとつひとつものを頼めば「いっぺんに言え、面倒くさい！」と言われるのだから、そりゃあ、喧嘩にもなる。親の言い分もあるだろうが、しょうがいしゃ こ たちば
障害者（子）の立場から いっほうてき い けつ おや なん い かいご にな にんげん
一方的に言わせてもらえば、決して親に何でも言えるわけではないし、それが介護を担っている人間ともなれば尚のこと、な お かいご うかが き つか いちおう
顔色を伺い、気を使っている。い 一応。

べつ べつ こ しょうがいしゃ み こころ かんぜん おや いそん おそ ほんにん
別のリスクをいえば、子（障害者）は身も心も完全に親に依存してしまっている惧れもある。本人も気づかぬうちに介護の場面のみならず、きづ かいご ばめん じんせい しゅたいせい ほうき い せい い
人生すべてにおいて主体性を放棄し、言いなりに生きている可能性である。そのことの自覚もないままに。かろうせい しかく かえり じぶん けいこう おちい
省みれば、自分にもその傾向はあったので陥りやすいかんけい
関係なのかもしれない。

ばあい おうおう おや こ しゅたいてき い おち
そしてこの場合、往々にして親がこの子は主体的になんて生きられないと思っているふしがある。しかし実際はじっさい せんたくし すく ほんにん しゅたいてき い ちから も
選択肢こそ少なくとも、本人は主体的に生きる力をちゃんと持っている。むしろ、そんな親に限って逆におや かぎ ぎやく しかく こども いそん こばな ひと おお おち
に自覚なく子供に依存してる（子離れできない）人が多いように思う。

かぞくかいご さいだい もんだいてん かいごしゃ おや かいご ひ かならく
それはさておき、家族介護の最大の問題点は介護者（親）が介護できなくなる日が必ず来るといふことだろう。この事実とどう向き合うかであるが、はっきり言って、向き合うことさえ勇気のいるこんなん もんだい よ なか せんたくし げんていてき らく
困難な問題である。いまの世の中、選択肢は限定的で、いずれも楽なものではない。

い じりつ ちいき く かんり しせつなど く ふた
ざっくり言ってしまうと、自立して地域で暮らすか、管理された施設等で暮らすかの二つである。こうしゃ ひとむかしまえ くら おち じゆうど わたし た
後者も一昔前に比べればだいぶマシになってはきている（と思う）。が、自由度でいえば、私には耐えられないレベルである。なによりかいごしゃ せんたく ゆる へいさ くらかん なか かいごしゃ かいご
介護者の選択も許されない閉鎖された空間の中で、介護者の顔色をうかが じそんしん たち じぶん じんせい しゅたいてき い じしん わたし とうてい けっきょく
伺い、自尊心を保ちながら自分の人生として主体的に生きていく自信は、私には到底ない。結局、わたし せんたく ちいき じりつ い かいじょしゃ
私が選択したのは地域で自立して生きていくことであつた。介助者とともに。

もちろん、これはこれで難しさも当然あるわけで、次回はそこらあたりのお話です。

日 々 夙 夙



もう二ヶ月前になりましたが、東日本大震災で被災にあわれた方々には心からお見舞い申し上げます。

自分に何が出来るか考えていますが、募金等しか今は力にはなれていません。一刻も早い復興を願っています。

さて時間の流れは一年変わらずに進んでいきます。私も自分なりに忙しく働いております。忙しくて仕様が無いとはいいますが、昔の人はみんながみんなではありませんがよく働いたらしいです。



仕事仕事で 趣味まで仕事。こんな人は滅多にいなかったでしょうが、今より多かったのではないのでしょうか。何と言っても戦後の復興、高度経済成長期を支えた人達ですし、仕事も沢山あったのではないのでしょうか。

今では過度の労働による過労死が90年代から労災認定されて、会社もそこまで仕事をさせないように改善しているようです。過労死の事もありますが、今では仕事以外の場所で生き甲斐を求める人も増えているようです。家族との時間を大切にしようになったんですね。では何故少子化が改善されないのかと思わず聞き返したくなりますが、この問題は他に多くの原因があるのでしょうか。

さて話を戻します。仕事をするにおいて 訳ではありません。しかし、会社は自分のある人が欲しいのしょう。実際私が会社を 経営者は労働者が健全に働ける環境を整備する責任があり、労働者は会社の為に熱意をもって働く義務があるんだと思います。



みんなが自分のやりたい職業につけ 会社に有益な人材が欲しいし、熱意の 経営していたらそんな人が欲しいです。

仕事に対して情熱を持ってなくて仕事以外に熱心になる。仕事に対し情熱を持っている社員がたくさんいる会社と、全然いない会社では仕事の速さも違うし、質も良いはずです。

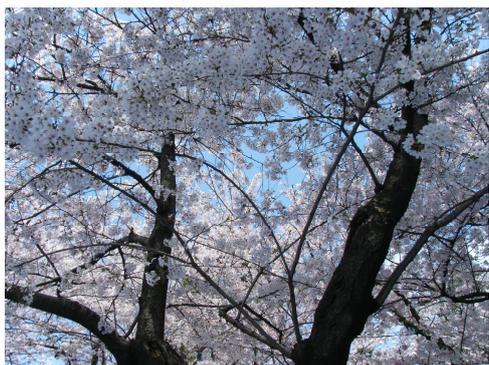
何故ならそこに情熱があって、色々な考えがあっても向かう方向が一緒なので、議論事態も質の高い物になると思います。仕事にしか当てはまる話ではないと思います。サッカーやチームスポーツ、演劇、バンドもそうだと思います。1つの目的に向かって動く集団。

それは自立運動も一緒です。願わくば、もっと多くの人達で、強い結束力をもって活動が盛り上が
 っていければ、社会もより差別やバリアがなくなっていくと思います。誰もが住みやすい街に早くな
 ればいいと思います。



お花見に行ってきました

4月9日土曜日、前日の雨が心配でしたが当日は朝から晴天に恵まれ、総勢20人で
 小倉城できれいに咲き誇る桜を見してきました。



活動報告 (平成22年11月～平成23年1月)

- 11月4日 ヘルパー研修(障害者の体験談から感じてみよう)
- 11月19日 よろず!!^⑪
- 11月24日 小倉リハビリテーション学院に出前講師^②
- 12月4日 障害者週間の啓発イベントに参加
- 12月10日 ヘルパー研修(差別事例検討)
- 12月10日 クリスマス☆よろず!!^⑫
- 12月12日 NPO法人 自立生活センターふるーむ 第3回通常総会
- 12月18-20日 ピアカウンセリング集中講座 in 北九州
- 1月19日 北九州特別支援学校の出前講師
- 1月21日 よろず!!^⑬ 新春、餅歌、よろず!!
- 1月26日 B級バスハイク『いちご狩りに行こう～!』



東日本大震災で被災された関東、東北地方の自立生活センターの当事者、スタッフの皆様方、心よりお見舞い申し上げます。

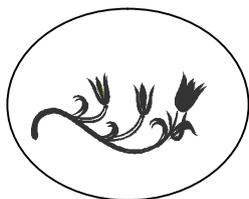
この通信がみなさんのお手元に届く頃には、少しでも復興していますように...と願うばかりです。



がんばろう日本!

【 ㊦ 】

■ロゴについて■



この3つが繋がったチューリップには、3J=「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい...という願いがこめられています。

■会員募集■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」みずからが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何が重要かということを一歩知っているのは「障害者」自身であると考えるからです。

自立生活センターぶるーむはこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員 当法人の目的に賛同し、法人の活動に責任を持って参加していただける個人の方。	3,000円
賛助会員 当法人の事業を資金面などで賛助していただける個人及び団体の方。	5,000円

【郵便振替】口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ
記号番号：17490 35083341

編集人 連絡先 NPO法人 自立生活センターぶるーむ
〒803-0818
福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F
TEL 093-562-5431
FAX 093-583-3257
E-Mail cil-bloom@nifty.com
URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>
定価 1,000円